

【今回の兼題】
けんだい

①花衣 ②チューリップ



郁子(岡)



○ドアノブに牙むく春の静電気
○風の電話あなたが笑う山笑う
○惜春や記憶消す友また一人

千草



どの色も青き蕾やチューリップ
○棚田天雲に追いつき鳥帰る
花衣莫座に団子の寛げる

えり

ゆの

廃屋やラジオ体操山笑う
黄木蓮白と紫だけでない
チューリップ背すじ伸ばして咲き誇る

志津子

マイナスをプラスに代えてチューリップ
おとどしいね筆筒の母の花衣
○ランドセル花片ひとつ付けてくる

紀美

文子

富子

春の田や田の字田の字に広がりぬ
入園児母追う足のたどたどし
○袖通す母の遺せし花衣

迪子

農子

お絵書きの赤白フリルチューリップ
○お花見にピザの配達頼む婆
○タラの芽や紅差指に棘ささる

山下 正雄 作品

チューリップ心奪われ色に酔う
花衣母の藤色座にとけて
昭和の日記憶の奥に祖母が居る

綾子

初江

○花衣大樹の下の母娘かな
バスデーカードはみ出すチューリップ
早苗田の見守りのごと鷺一羽

○春萌す幾光年の光射し

○子等の声遠く近くに春の磯

○生れし児の拳柔らか春の夕

哲也

丞子

水筒に緑茶の香り花衣
おひさまへ背伸びしているチューリップ
桜草ベンチの側にベビーカー

保子

酔花

チューリップさいたさいたまちかねて
チューリップいったつもりでオランダに
花衣はおりむせても今日だけは

○夜桜へ長患いの夫置いて
動線の短くなった傘寿の里
○ブリキ缶満月一夜とじこめる

花衣娘に少し遅れ行く
トロフィーを妻に一本チューリップ
面取りの母のてのひら春大根

★次回市民句会

【開催日時】

令和八年五月二十日(水)

午後一時十五分～午後四時(予定)

【場所】

オーテピア4階 研修室

【兼題】

①緑さす ②筍(たけのこ)

(他の題材でも構いません)

【初めての方へ】

市民句会は、俳句愛好者の集いです。
どなたでも自由にご参加いただけます。
事前申込や参加費は不要です。

